

ゲート設備の機能維持及び信頼性の確保

～ゲート設備点検・整備～

北上川ダム統合管理事務所 管理第一課

◎点検・整備

北上川ダム統管の5大ダムのゲート設備は、石淵ダムを最古として建設から50年～30年を迎え、老朽化はみられるものの、まだまだ現役で使用続けるために、直営による毎月の点検・整備と、年1回、専門業者による点検及び試運転を行い、機能維持と信頼性の確保の努めています。



湯田ダムのクレストゲート年点検の様子

◎H24年度の修繕

田瀬ダムのクレストゲートと湯田ダムのコンジットゲートにおいて、塗膜が劣化しサビや剥離が発生しているため、ゲートの塗り替え塗装を行っています。

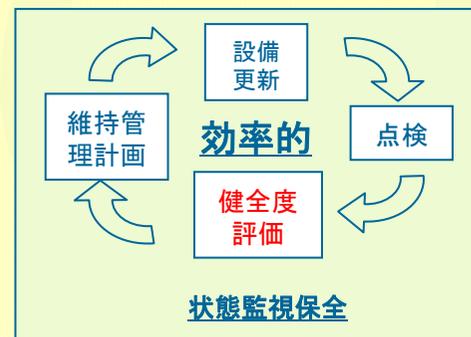


田瀬ダムにおける作業の様子

◎予防保全型管理

国民のみなさんから預かった限られた税金をより効率的・効果的に運用し、社会資本整備を持続可能なものとするため、健全度評価により施設の状態を客観的に評価し、修繕・更新を実施しています。

重大な損傷が起きてから対応する従来の事後保全型の維持更新から、劣化を予測して早めに手当てをし、施設の寿命を延ばす予防保全型の維持更新を実施しています。



動作中の振動測定



操作機器の絶縁抵抗測定

◎長寿命化計画書の作成

点検・整備結果に基づく客観的な健全度評価を軸とした維持管理サイクルの確立に加えて、点検の合理化及び中長期保全計画などを策定し、ゲート設備等のさらなる延命化を推進していきます。

また、今後とも、平時のダム管理だけでなく、地震及び台風などによる出水時の緊急対応にも万全を期してまいりたいと思います。

